

和歌山県教育委員会

資料提供

令和 7 年 3 月 13 日

県立博物館で約 7 年ぶりのやきもの展

企画展「“写(うつす)”—紀州のやきものを巡るまなざし—」開催！

和歌山県立博物館では、令和 7 年 3 月 15 日(土)から 4 月 20 日(日)までの会期で、企画展「“写(うつす)”—紀州のやきものを巡るまなざし—」を開催します。19 世紀の紀州ゆかりの多様なやきものを、何かを「写す」という営みに注目してご紹介します。やきものをテーマとした展示は、当館では約 7 年ぶり。展示資料は全 45 件 61 点です。詳しくは開催概要・チラシをご参照ください。

- 【展覧会名】 「“写(うつす)”—紀州のやきものを巡るまなざし—」
- 【会 期】 2025 年(令和 7 年)3 月 15 日(土)～4 月 20 日(日)
- 【主 催】 和歌山県立博物館
- 【休館日】 毎週月曜日
- 【会場】 和歌山県立博物館 企画展示室
(和歌山市吹上 1-4-14〔和歌山城・南側〕、TEL.073-436-8670(代表))
- 【開館時間】 9 時 30 分～17 時(入館は 16 時 30 分まで)
- 【入館料】 《3 月 15 日(土)～3 月 30 日(日)》
一般 280 円(230 円)、大学生 170 円(140 円)
* ()内は 20 名以上の団体料金。
* 高校生以下、65 歳以上、障害者手帳をお持ちの方、および県内に在学中の外国人留学生は無料。
- 《4 月 1 日(火)～4 月 20 日(日)》
一般 310 円(250 円)、大学生 190 円(150 円)
* ()内は 20 名以上の団体料金。
* 高校生以下、65 歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料。
* 毎月第 1 日曜日は無料(会期中では、4 月 6 日)。
- 【その他】 ミュージアム・トーク(展示解説) 13 時 30 分～14 時 30 分
3 月 20 日(木・祝)、4 月 12 日(土)
※入館手続きをおすませの上、企画展示室入り口にお集まり下さい。

(連絡先)

県立博物館 学芸課

担当:学芸員 原田 直輝・袴田 舞

電話: 073-436-8670(代表)

E-mail : admin@hakubutu.wakayama-c.ed.jp

みどころ1 徳川治宝ゆかり、中国風のやきものの美

紀伊藩 10 代藩主徳川治宝は、自身の別邸などに京（京都）から陶工を呼び寄せ、最先端の技術で、当時憧れの的であった中国風のやきものを写した製品を作ります。鮮やかな青や紫で彩られた交趾写の製品

【写真 1】、絵画のようなグラデーションの美しい、中国・清時代のやきものを写した製品【写真 2】など、治宝や彼の招いた京の陶工とゆかりの深い、中国風のやきものをご紹介します。



【写真 1】 偕楽園焼 交趾写 寿字文花入
(和歌山県立博物館蔵)



【写真 2】 南紀男山焼
偕楽園画製 色絵桜花図皿
(和歌山県立博物館蔵)

みどころ2 変幻自在、瑞芝焼の技

瑞芝焼は、美しい仕上げの青磁を作ったことで知られます。その一方で、中国や朝鮮、ヨーロッパ、東南アジア、国内の窯に至るまで、様々なやきものの写しも作りました。例えば、【写真 3】は東南アジアで作られた安南焼と呼ばれるやきものを、【写真 4】は美濃（岐阜県）で作られた織部焼を、それぞれ写しています。青磁の優品に加えて、色とりどり、多彩な表情をみせる瑞芝焼の製品をご覧ください。



【写真 3】 瑞芝焼
安南写 草花文土瓶
(和歌山県立博物館蔵)



【写真 4】 瑞芝焼
織部写 大根鼠図銚子
(和歌山県立博物館蔵)

みどころ3 南紀男山焼の陶工のまなざし

南紀男山焼は、紀州で最大規模の登窯を有し、大量のやきものを製作しました。この企画展では、紀州ならではの資料といえる、地元の名所を描いた器【写真 5】、偕楽園焼の交趾写製品をさらに写した器【写真 6】などについて、製作のアイデアの詰まった陶工の下絵帖【写真 7】とともにをご紹介します。やきものの製品や版本、実際の景色など、さまざまなものを見て写し、やきものに取り入れる陶工のまなざしに触れていただければと思います。



【写真 5】 南紀男山焼
染付玉津春 暁図花入
(和歌山県立博物館蔵)



【写真 6】 南紀男山焼
交趾写 草花文花入 (和歌山県立博物館蔵)



【写真 7】 下絵帖 光川亭仙馬筆
(和歌山県立博物館蔵)